

郡山市は、
みんなで目指す「郡山 ごみ減量 20%」
に取り組みます。



ターゲット 12.5

2025年6月10日
環境部5R推進課
課長 伊東 洋祐
TEL：924-2188
環境部資源循環課
課長 佐藤 伸治
TEL：924-2758

SDGs ターゲット 12.5 「廃棄物発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」

この度、郡山市の今後の具体的なごみ減量の取り組みについて、以下のとおりまとめましたので、市民一人当たりのごみ排出量に関するデータと併せてお知らせします。

・ みんなで目指す「郡山 ごみ減量 20%」への取り組み（別添、資料1）

郡山市では、2024年11月に改定した郡山市一般廃棄物処理基本計画において「2016年度比で2027年度までにごみ排出量を20%削減する」という目標を掲げております。

今回、この目標の達成に向け、市民・事業者・行政が一丸となった行動へとつなげていくため、みんなで目指す「郡山 ごみ減量 20%」のスローガンのもと、ごみの減量に向けたロードマップ（別添、資料2）に基づいた具体的な施策を実施してまいります。

・ 郡山市のごみ排出量（別添資料3）

本市の市民1人当たりのごみ排出量は、前年度と比較して大きく改善しましたが、中核市の中では依然として最下位となっております。

<5Rについて>

郡山市では、令和6年4月1日付け組織改編により3R推進課が5R推進課と資源循環課になりました。リデュース・リユース・リサイクルの3Rに、リフューズとリペアの2Rを加えた5Rは、ごみ減量の重要な取り組みであるため、展示物を通じて広く市民に周知を図ります。

みんなで目指す「郡山 ごみ減量 20%」

郡山市一般廃棄物処理計画で定める1人1日当たりのごみの排出量の

20%削減 に向け、全市をあげての市民運動・エコアクションを実施

○『郡山 ごみ減量 20%』を全市をあげてのエコアクションとしてPR

～広報こおりやまやWebサイト、SNS、市イベントでの啓発～

- ・ロゴマークの募集
- ・パンフレットやポスターの作成
- ・資源とごみ収集カレンダーでの周知
- ・公共施設等での放送
- ・ごみ集積所への看板設置の検討等

○ 市民や事業者に対する表彰制度の創設の検討

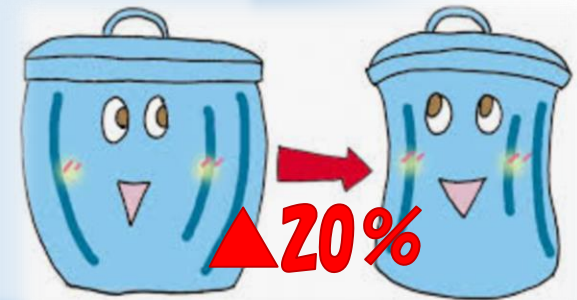
○ 家庭ごみの搬出指導の強化の検討(指導員の設置等)

【市民】

- ・ **新** ごみ減量教室の拡充
- ・ **拡** 出前講座の拡充
- ・ 集積所のあり方についての検討
- ・ 生ごみ「水切りダイエット」配布
- ・ 電動式生ごみ処理機補助
- ・ キエーロ市民モニター
- ・ リユーススポット事業

【事業者】

- ・ **新** クリーンセンター搬入料金の改定(2025.10～)
- ・ **新** あわせ産廃の受入停止(2025.10～)
- ・ **新** 廃棄物減量計画書に基づく取り組みの実施
- ・ 展開検査の実施
- ・ 適正包装の推進



郡山市一般廃棄物処理基本計画

2016(H28)年実績 1,215g

→ 20%減 → 2027(R9)年 970g

中核市ワースト1位返上に向けたロードマップ

詳細は
こちら→



2025.6.10 資料2
環境部 5 R推進課／資源循環課

年度		2022	2023	2024	2025	2026	2027
1人1日当たりごみ排出量		1,165g	1,102g				(目標)970g
キャッチコピー ⇒ 市民運動へ			隼より始めよ	生ごみ減量大作戦	NEW	《市民総ぐるみエコアクション》 みんなで目指す「郡山 ごみ減量 20%」	
I 生活系ごみ減量	1 広報周知	ごみサク		サービス開始			
		リサイクルスポットマップ事業		準備	GIS公開		
		SNS、Webサイト等での啓発	LINEや市Webサイトでの情報発信等		NEW	ごみ減量教室	
	2 生ごみ減量	「水切りダイエット」配布	購入・配布(こども部、教育委員会と協奏)				
		電動式生ごみ処理機補助		購入費補助開始			
		キエーロ市民モニター		モニター			
	3 再利用	廃食油リサイクル事業	NEW	準備	実施に向け検討	リサイクル開始	
		リユーススポット事業		実証実験	市独自実施		
	4 双方	NEW ごみ搬入料金改定	審議会		改定内容の周知	搬入料金の見直し	
		クリーンセンター搬入資格確認		搬入時身分証確認			
II 事業系ごみ減量		クリーンセンターでの展開検査実施	展開検査装置導入		検査強化		
	NEW	あわせ産廃の受入停止	審議会		見直内容の周知	受入停止	
	NEW	減量計画書の提出		規則改正準備	改正内容の周知	減量計画書の提出	
		事業者訪問・周知啓発・指導			審議会		
		こおりやまタスケ		事業開始			
			実証実験	事業開始			
III 庁内		シュレッダー・機密文書処理委託	(総務部と協奏)シュレッダー処理・機密文書処理委託				
			教育委員会(中央図書館)との協奏		NEW	(総務部と協奏)紙類の分別の細分化と分別徹底に向けた周知	
		新2R(リフューズ、リペア)		パネル展	広報周知・部局間協奏による事業検討		
その他、例年実施している事業等		・5Rフェスティバル	・ 拡充	きらめき出前講座	・コンポスト無償貸与	・市内小売店でのてまえどり運動	

2023(令和5)年度 郡山市のごみ排出量について

■ごみ排出量(1人1日当たり、2023年度・2022年度比較)

		郡山市 (中核市順位)	中核市 平均	中核市 平均の差
事業系 ごみ	2023	395g (55位/62市)	283g	+112g (+39.6%)
	2022	410g (58位/62市)	287g	+123g (+42.8%)
生活系 ごみ	2023	707g (61位/62市)	592g	+115g (+19.4%)
	2022	755g (61位/62市)	622g	+133g (+21.3%)
合計	2023	1,102g (62位/62市) △63g (※1)	875g △34g	+227g (※2) (+25.9%)
	2022	1,165g (62位/62市)	909g	+256g (+28.1%)

●2023年度・2022年度比較 本市ごみ排出量

事業系ごみ・生活系ごみともに減少、合計で見ると中核市平均を上回る63g(※1)の減少となったが、依然として平均比で227g(※2)多く、排出量ワースト1位。

【他自治体の情報】

環境省ページ内「処理状況→全体
集計結果→市町村集計結果」をご覧ください



■排出量の推移(1人1日当たり)

